

## 平成 22 年度 会派調査研究報告書

(視察先 1 箇所につき 1 枚)

会 派 名	日本共産党	
事 業 名	先進地視察 香川県 高松市 「市街地活性化基本法に基づく商店街づくり」について	
事 業 区 分	①研究研修	②調査

### 1 上田市での課題と研修・調査の目的

上田市では、中心商店街の活性化が課題であり、市街地活性化基本法に基づくまちづくり計画が国に認可してもらった。今後の中心商店街づくりをどうしていくかが大きな課題となっている。

### 2 実施概要

実施日時	視察先	県 市
平成 23 年 1 月 24 日 15 時 10 分～17 時 商店街づくりの視察ということで 市役所で説明を聞いたのちに、実際 に商店街に市役所職員とともに 行って、その場で説明を受けた。	担当部局	高松市議会事務局政務調査課調査係長 谷本新吾氏 高松市役所都市整備部まちなか再生課 課長補佐 河合良治氏 高松市役所都市整備部まちなか再生課 活性化支援係長 吉井隆洋氏

1 市の概要

	人口	面積	財政力指数	高齢化率	議員定数
高松市	418125 人	375.11 km <sup>2</sup>	0.85	20.2%	51
上田市	163651 人	552.00 km <sup>2</sup>	0.66	23.1%	31

2 市の特徴

<別紙、添付資料>

3 視察事項について

<別紙、添付資料>

報 ○高松市役所にて



告  
内  
容

○高松市商店街のアーケード内にて



\* 視察先の写真等がある場合は添付のこと

○行政の支援が不可欠

- ・翌日の移動のこともあり、宿泊は丸亀市とした。夕食は、駅近くのお店でいただいたが何本もあるアーケード通りに営業していると思われる商店がほとんどありませんでした。昼間見た高松市のアーケード街とはうってかわっての状況で、行政が支援しないと商店街はさびれていく一方であると感じたところです。

○市街地活性化基本法にもとづく計画が再生の起爆剤

- ・高松市も県都ということもあり、かなりの財政支援をしていることがよくわかりました。商店街は、平日にもかかわらずかなりありました。アーケード街が数キロもあるという点で歩行者にとっては、利便性が高いとも言えます。しかし、空き店舗もそれなりにあり、家賃補助により空き店舗への誘導も考えているとの説明でした。

○人的支援も大事

- ・説明に出てくれた市役所職員の部署名が、高松市役所都市整備部まちなか再生課、活性化支援係となっており、市役所の体制がかなりしっかり「まちなか再生」にサポートする体制があると受け止めました。
- ・まちづくり会社による計画とその実行が基本ですが、上田市としても、職員体制の強化と財政支援もしっかりしなければならないと思いました。